

政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名	ツーリズムの展開	政策コード	Ⅱ-3	関係部局名	企画振興部、生活環境部、教育庁
-----	----------	-------	-----	-------	-----------------

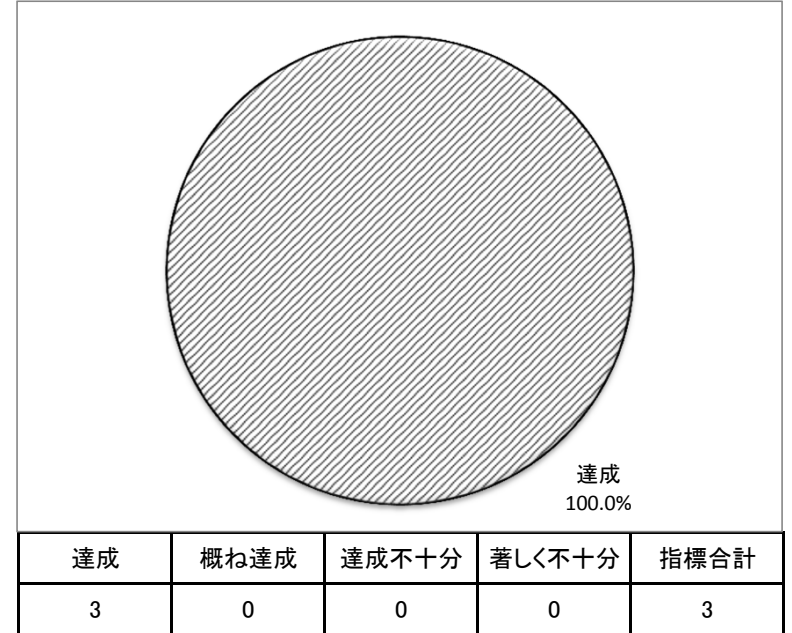
【Ⅰ. 政策の概要】

自然、温泉、歴史、文化、産業、グルメ等のすぐれた地域資源の戦略的な売り込みや、観光客ニーズに適合する旅行商品の開発、観光ボランティアガイドの育成、九州新幹線等を活用した広域観光ルートの形成などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名	指標評価	総合評価
1 観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

農業に観光的な要素を入れたグリーンツーリズムの推進などの「地域資源の商品化」、おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンを契機としたおもてなし機運の醸成などの「ツーリズム基盤の整備」、国内圏域別の旅行会社への商談会の開催や旅行会社と連携した旅行商品造成等の「九州新幹線全線開業など環境の変化に対応した新たな観光戦略の推進」、さらには、円安、ビザの発給要件緩和等を追い風として、国際線の就航に合わせた、海外の観光展への出展や旅行会社・メディアの招請といった戦略的な誘客対策などの「アジアを中心とする海外からの観光客の誘致」に取り組んだ結果、指標全てで目標を達成した。

今後は、「日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略2015」に基づき、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会なども念頭におきながら、国内観光客確保策やインバウンド対策を加速させるとともに、次代を担う観光人材の育成、温泉や自然、食、アートなどによるブランドイメージの確立を行い、交流人口をさらに増加させていく。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—